
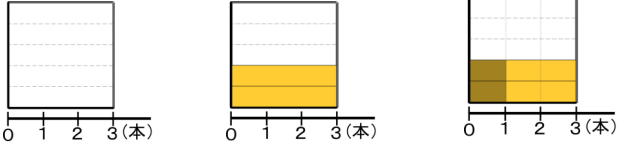
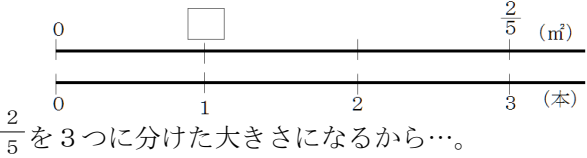





<b>課題</b> 絵の具3本で、紙を $\frac{2}{5}$ m <sup>2</sup> ぬれました。 この絵の具1本では、紙を何m <sup>2</sup> ぬれますか。	紙が $\frac{2}{5}$ m <sup>2</sup> でなくて6 m <sup>2</sup> だとしたら、何算を使うかな。 分数÷整数の計算のやり方を考えましょう。 $(\frac{2}{5} \div 3)$ の計算のやり方	
--	---	---

<b>既習事項</b>	①面積図に色をぬって答えを求めよう。 ②わられる数を整数になおせば計算できる。 ③分子と分母に同じ数をかけて、3でわれるようにする。 ④数直線にかいたら分かる。
-------------	---

<b>自力解決</b>	①1枚の紙に5分の2ぬる。絵の具が3本なので、1本でぬれるのは、3つに分けたうちの1つ分。 	<b>指導上の留意点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●面積図のプリントを準備しておく。</li> <li>●面積図で答えが分かった児童には、式を作ってみるように指示する。</li> <li>●計算で求答できた児童には、自分の考えを発表できるように準備させる。</li> </ul>
	②わる数とわられる数に同じ数をかけて、 $\frac{2}{5}$ を整数になおして計算する。 $\frac{2}{5} \div 3 = (\frac{2}{5} \times 5) \div 3 \times 5 = 2 \div 15 = \frac{2}{15}$	
	③ $\frac{2}{5}$ の分子の2は3でわれないので、3でわれるように分母と分子に同じ数をかける。 $\frac{2}{5} \div 3 = (\frac{2 \times 3}{5 \times 3}) \div 3 = \frac{2 \times \cancel{3} \div \cancel{3}}{5 \times 3} = \frac{2}{5 \times 3} = \frac{2}{15}$	
	④数直線にかいて求める。 	

<b>集団思考</b>	1 <b>自分の考えを発表する。</b> 答えは分かったけど、かんたんに計算するにはどうしたらいいのかな？ かんたんに計算するやり方を考えよう。	
	2 <b>かんたんに計算するやり方について話し合う。</b> どのやり方でも $\frac{2}{5} \div 3 = \frac{2}{5 \times 3} = \frac{2}{15}$ になる。 分母にわる数をかけると、いくつ分に分けたか分かるのね。	
	3 <b>分数×分数の計算のやり方をまとめる。</b> 分数を整数でわる計算は、わる数を分母にかけます。	

- これまで習った考え方ややり方をどう用いたのか意識して発表させる。
- 既習事項やこれまでやった考え方を教師が確認する。
- 式と面積図の関係を確認しながら、どのやり方でも同じ答えになることを確かめる。
- 簡単に計算できるやり方はどれか考えさせる。

ま  
と  
め

○ 適用問題に取り組む。(教科書や単元問題ライブラリー)

$$\frac{2}{5} \div 3 \text{ ①} \quad \frac{3}{4} \div 7 \text{ ②} \quad \frac{6}{7} \div 3 \text{ ③} \quad \frac{2}{5} \div 3 \text{ ④}$$